

総合工学委員会分科会の設置について

分科会等名：総合工学委員会未来社会と応用物理分科会

1	所属委員会名	総合工学委員会
2	委員の構成	50名以内の会員又は連携会員
3	設置の必要性	<p>21世紀の安全・安心で環境に優しい社会を創り出すためには、これまで科学技術の基盤を担い、中核的な学問分野であった応用物理をめぐる新たな課題について検討し直すとともに、中長期の展望を掲げながら当該分野の推進を目指していくことが求められている。総合工学委員会は複数の工学分野から構成されており、その複眼的・学際的アプローチを十分に活かすことで、以上の目標を達成することが可能となる。物理を研究活動の切り口に持つ応用物理は、化学などを含めた基礎科学の礎であり、同時に全ての工学の学術的な基盤ともなっている。このことを再認識し、未来社会を見据えながら具体的な課題について、柔軟で機動的な分野横断的な掘り下げと取り組みを、現在我が国が置かれている経済社会状況やグローバルな観点から行うため、分科会を設立する。</p> <p>本分科会は、科学技術の中核的な学問である応用物理分野の研究開発のあり方について検討し、未来社会へ向けた強化策と関連する新たな融合分野の創成について広く議論し、応用物理分野の将来ビジョンを明らかにする。また、研究成果を有効に活用し、世界レベルに発展させていくために、産学連携による研究協力体制のあり方についても電気電子工学委員会、情報学委員会などと緊密に連携しながら検討していくこととする。</p> <p>同時に、発展性のある基盤構築に向けて、次世代を担う人材の育成・教育について産学協同で検討する場を設けることも視野にいれ、課題の検討を行い、最終的には包括的提言を行うことを目指している。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 未来社会を展望し、応用物理関連分野の連携・融合による研究開発強化と新たな創成へ向けた将来ビジョンの検討</li> <li>2. 産学連携による研究協力のあり方の検討</li> <li>3. 発展性のある基盤構築のための教育と人材育成の具体的検討</li> <li>4. 提言およびまとめ</li> </ol>
5	設置期間	<p>期限設置 年 月 日～ 年 月 日</p> <p>常設</p>
6	備考	※ 所属希望者が多数であったため、委員の構成を40名以内から50名以内に改正したもの